

科目名		基礎デザイン実習C Basic Design Practice C			年度	2024	
英語表記					学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル		評価方法 自己評価	
1	表現技法の基礎	表現技法を学ぶには	ガイダンス	授業の流れを理解している		2	
			インテリア家具を描く	インテリア家具の形を捉えられる			
2	分析・調査	デザインを分析・調査する	業界説明	インテリア業界を理解している		2	
			デザイン探し	'好きなデザイン'を分析・調査することができる			
3	表現技法の基礎	着彩のポイントを掘む	素材感・陰影の理解	家具の素材感や陰影を理解して表現できる		2	
			濃淡、光沢を表現	家具へ濃淡、光沢を出した着彩ができる			
4	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	'好きなデザイン'を他者に伝わる発表ができる		2	
			デザイン探し	好きな空間デザイン・デザイナーを調査できる			
5	表現技法の基礎	着彩のポイントを掘む	素材感・陰影の理解	樹木の質感や陰影を理解して表現できる		2	
			濃淡、光沢を表現	樹木の濃淡・光沢を出した着彩ができる			
6	分析・調査	デザインを分析・調査する	発表	'好きな空間デザイン・デザイナー'を発表できる		2	
			デザイン探し	'好きな素材'を分析・調査することができる			
7	表現技法の基礎	1消点バースの描き方	1消点バースの理解	図面を読みとり、立体視できる		2	
			1消点バースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる			
8	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	'好きな素材'を発表することができる		2	
			デザイン探し	'残念な空間'を分析・調査することができる			
9	表現技法の基礎	1消点バースの描き方	家具を描く	箱型作図から家具らしい形に描くことができる		2	
			空間・家具に着彩	素材感・陰影を表現した着彩ができる			
10	分析・調査	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	発表	'残念な空間'を発表することができる		2	
			デザイン探し	'並べる'を分析・調査することができる			
11	表現技法の応用	2消点バースの描き方	2消点バースの理解	図面を読みとり、立体視できる		2	
			2消点バースを描く	視点と遠近法を理解して作図できる			
12	表現技法の応用	2消点バースの描き方	家具を描く	箱型作図から家具らしい形に描くことができる		2	
			空間・家具に着彩	素材感・陰影を表現した着彩ができる			
13	表現技法のまとめ	"オリジナルで1消点バースを描く"	空間を描く	店舗のファサードを1消点で描くことができる		2	
			着彩をする	素材感・陰影を表現した着彩ができる			
14	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	立体造形。平面構成	'並べる'を自身で制作できる		2	
			発表	'並べる'を他者に伝えることができる			
15	分析・調査から制作	他者に伝えられ、他者から学ぶこと	探す	'壁・柱・天井'欠けていても空間をなす。を探す		2	
			発表	'壁・柱・天井'欠けていても空間をなす。を発表する			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等